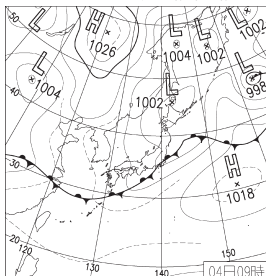


# 日々の天気図

— No. 164

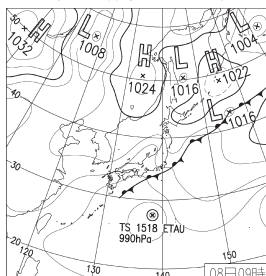
## 2015年9月

- ・9～11日、台風から変わった低気圧への暖湿気流入などの影響で、「平成27年9月関東・東北豪雨」。栃木・茨城・宮城県に大雨特別警報、鬼怒川などは氾濫。
- ・14日、阿蘇山噴火で初の噴火速報。
- ・28日、台風第21号接近で沖縄県と那国島の最大瞬間風速61.1 m/s。  
(気象庁予報部予報課)



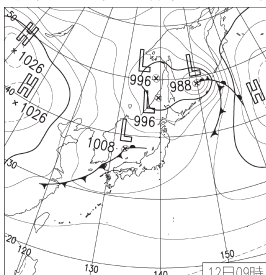
### 4日(金) 上空寒気で不安定

西日本は晴れ、寒気を伴う上空の気圧の谷が通過し、東海と関東は前線の影響、北陸や北日本は低気圧の影響もあって雨。新潟県下関で60 mm/1hの非常に激しい雨。



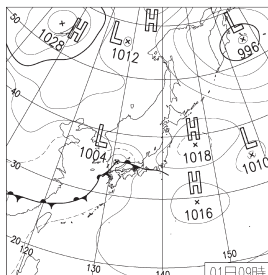
### 8日(火) 台風第18号北上

湿った空気が本州南岸の停滞前線に流れ込み東海を中心に大雨。日降水量は静岡県浜松219 mm、三重県尾鷲203 mm、伊豆諸島は三宅島57 mm/1h、神津島56.5 mm/1hの非常に激しい雨。



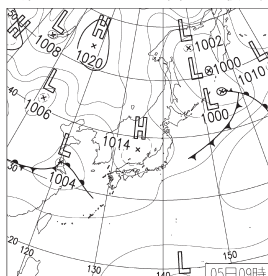
### 12日(土) 東京都で震度5弱

日本海にある前線と低気圧の影響で日本海側では西～北日本にかけて雲が広がりが所々で雨。沖縄・奄美、西～北日本の太平洋側では概ね晴れ。



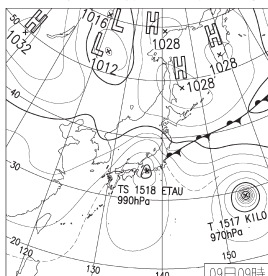
### 1日(火) 九州で猛烈な雨

沖縄～東北は停滞する前線や低気圧の影響で雨。長崎県の美津島93 mm/1h、厳原90 mm/1hなど猛烈な雨。四国・東海は50 mm/1h以上。西経域のハリケーンが東経域に接近。



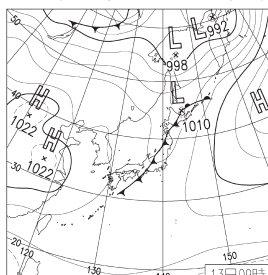
### 5日(土) 西から低気圧近づく

移動性高気圧に覆われ、近畿～北海道にかけて日中は晴れ間が広がる。九州は低気圧が接近し曇りから雨。北海道ではオホーツク海の低気圧と上空の寒気の影響により所々で雨。



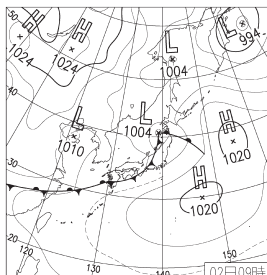
### 9日(水) 台風上陸

台風第18号は愛知県西尾市付近に上陸し日本海で温帯低気圧に。栃木県土呂部で観測史上1位の日降水量405.5 mmなど東海・関東・東北南部で大雨。三重県鳥羽で75.5 mm/1h。



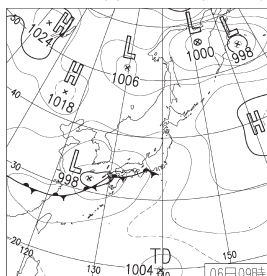
### 13日(日) 寒冷前線通過

北海道付近の低気圧からのびる寒冷前線が日本列島を横断。北日本では前線通過時に強い雨。全国的に気温が平年より低く、北日本日本海側では最高気温が10月中旬並の所も。



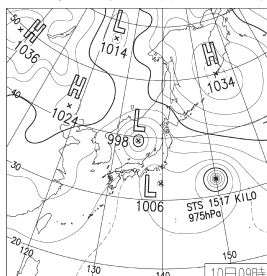
### 2日(水) ハリケーン越境、台風に

前線や低気圧の影響で全国的に雨。沖縄県胡屋72 mm/1h、静岡県佐久間59.5 mm/1hなど非常に激しい雨。北海道カルルスで日降水量218 mm。ハリケーンは東経域で台風第17号に。



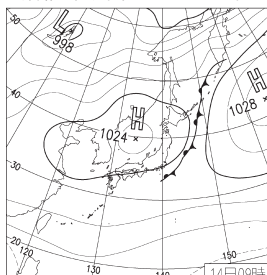
### 6日(日) 千葉などで竜巻

前線や湿った気流などの影響により、西～東日本の所々で50 mm/1h以上の非常に激しい雨。鹿児島県では喜入で82 mm/1hの観測史上1位の猛烈な雨。屋久島では日降水量207 mm。



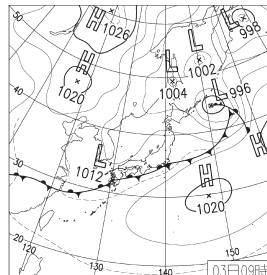
### 10日(木) 栃木・茨城に特別警報

日本海の低気圧と台風第17号の影響で、関東・東北南部で大雨続き。栃木県五十里では9日～10日の降水量602 mm、栃木県と茨城県に大雨特別警報を発表。鬼怒川では氾濫。



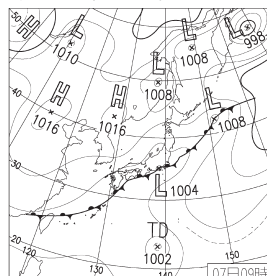
### 14日(月) 台風第19号発生

高気圧に覆われて広く晴れたが、上空の寒気の影響を受けた北海道など所々で雨。南シナ海で台風第19号発生。阿蘇山が噴火し、初の噴火速報。噴火警戒レベル3(入山規制)に。



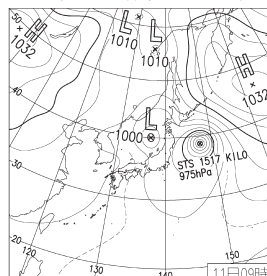
### 3日(木) 太平洋側を中心に雨

北海道など一部で晴れたほかは曇りや雨。最高気温は近畿を中心に平年より低く大阪で平年差-6.4℃の25.6℃で10月上旬並み。長崎県上大津で54 mm/1hの雨。



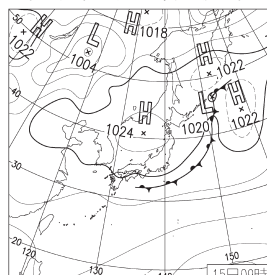
### 7日(月) 前線停滞

南岸に前線が停滞し北海道を除き曇りや雨。東海や関東を中心に所々で激しい雨となり、千葉県では館山64 mm/1h、鴨川で9月1位となる58 mm/1hなど非常に激しい雨。



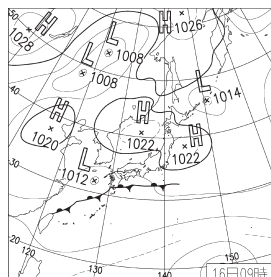
### 11日(金) 宮城でも大雨特別警報

宮城県駒ノ湯72 mm/1hなど東北は明け方まで非常に激しい雨で宮城県大衡の日降水量168.5 mm、沖縄～東日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。台風第17号は温帯低気圧に。

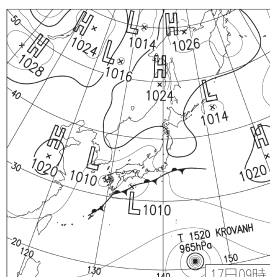


### 15日(火) 短命な台風

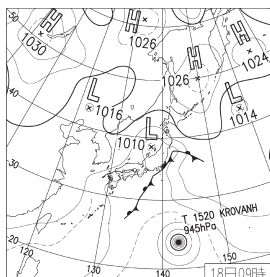
日本付近は日本海の高気圧に広く覆われ晴れたが、九州や沖縄・奄美は湿った空気により曇りや雨。前日発生した台風第19号はベトナムに上陸して弱まり熱帯低気圧に。



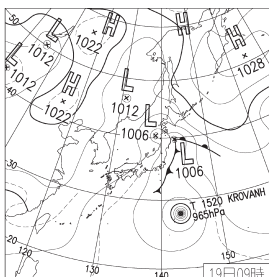
**16日(水)奄美大雨**  
前線に伴う雨雲が沖縄～東日本まで広がる。鹿児島県小宝島では56.5 mm/1hの非常に激しい雨。北日本は高気圧に覆われて概ね晴れ。台風第20号がマリアナ諸島で発生。



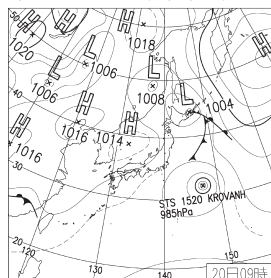
**17日(木)チリ沿岸でMw8.3の地震**  
南岸に前線が停滞し、沖縄・奄美や西～東日本と東北部で曇りや雨。上空の寒気の影響もあって長崎県上大津で83 mm/1hの猛烈な雨。東北北部や北海道は高気圧に覆われて晴れ。



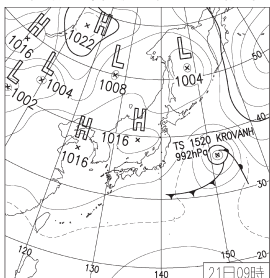
**18日(金)太平洋沿岸で津波**  
前日のチリ沿岸の地震で南西諸島～北海道の太平洋沿岸で津波。岩手県久慈港で0.8 m。未明～朝にかけて東海を中心に非常に激しい雨。静岡県土肥で61.5 mm/1h。



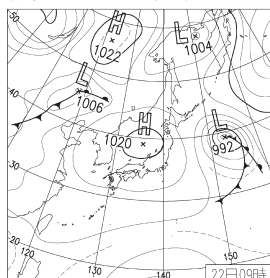
**19日(土)台風小笠原諸島に接近**  
気圧の谷の影響で北日本は雷雨。台風第20号が接近した東京都父島は最大瞬間風速35.7 m/sの風。観測史上1位の79 mm/1hの雨。9月1位の日降水量217.5 mmと大荒れ。



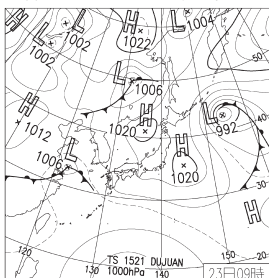
**20日(日)台風、日本の東へ**  
日本海の高気圧に覆われ西日本を中心に広く晴れたが、北日本の日本海側など所々で雨。小笠原諸島は天気回復。北海道東部では気温上昇し帯広で25.6℃など8月並の最高気温。



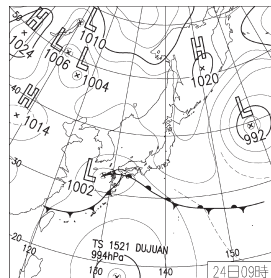
**21日(月)台風は温帯低気圧に**  
全国的に高気圧に覆われて概ね晴れ。沖縄・奄美は湿った気流の影響により、北海道は大気の状態が不安定となり所々で雨。台風第20号が日本の東海上で温帯低気圧に。



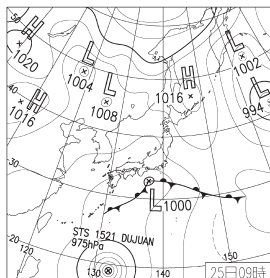
**22日(火)全国的に晴れ続く**  
明け方まで北海道で雨が降った所はあったが、日本海の高気圧に覆われ全国的に晴れの天気が続く。最高気温は平年より高い所多い。台風第21号がフィリピンの東海上で発生。



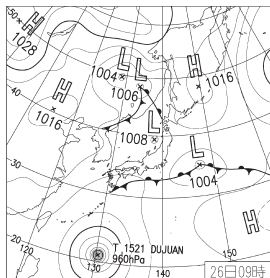
**23日(水)西から雨雲広がる**  
東シナ海の低気圧の影響で西日本は曇りや雨。長崎県では頭ヶ島79 mm/1h、有川61.5 mm/1hの非常に激しい雨。東～北日本は高気圧に覆われ晴れ。



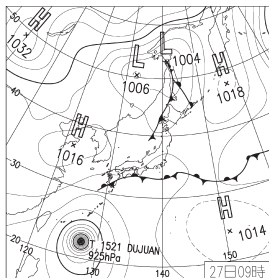
**24日(木)太平洋側で大雨**  
低気圧の東進に伴い雨域も西～東日本へと広がる。太平洋側の沿岸付近で雨は強く、高知県須崎では91.5 mm/1hの猛烈な雨と観測史上1位の日降水量363 mm。



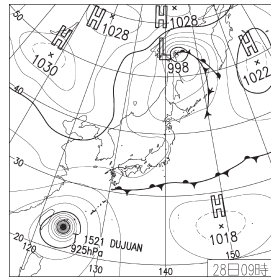
**25日(金)三重県で大雨**  
動きの遅い低気圧や前線の影響で、近畿～東北で雨。三重県では尾鷲で74 mm/1hの非常に激しい雨で日降水量362.5 mm。台風第21号はゆっくり北西進。



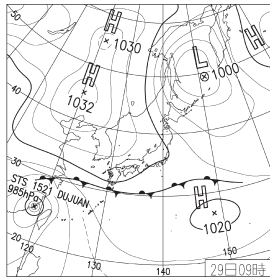
**26日(土)全国的に曇りや雨**  
沖縄・奄美は台風第21号が接近し、湿った気流により雨。その他の地方は前線や低気圧の影響で曇りや雨の所が多い。西～東日本の日本海側では晴れ間が広がった所も。



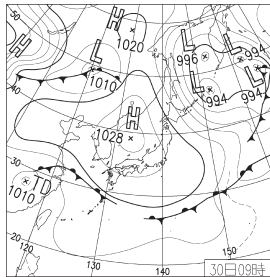
**27日(日)先島諸島で風が強まる**  
沖縄は台風第21号による雨。西～東日本の日本海側は晴れたが、太平洋側は停滞前線による雨。北日本は寒冷前線通過に伴う雨。東京都青ヶ島で52 mm/1hの非常に激しい雨。



**28日(月)与那国島で記録的暴風**  
台風第21号による沖縄県与那国島の最大風速54.6 m/s、最大瞬間風速81.1 m/sはともに観測史上1位。北海道と九州・奄美は雨。その他の地方は高気圧に覆われ晴れて気温高い。



**29日(火)北海道旭岳で初冠雪**  
台風第21号は華南で熱帯低気圧に。先島諸島の風は次第に弱まる。前線近傍の沖縄～九州南部は雨で沖縄県盛山で51 mm/1hの非常に激しい雨。北海道旭岳で今年全国初の初冠雪。



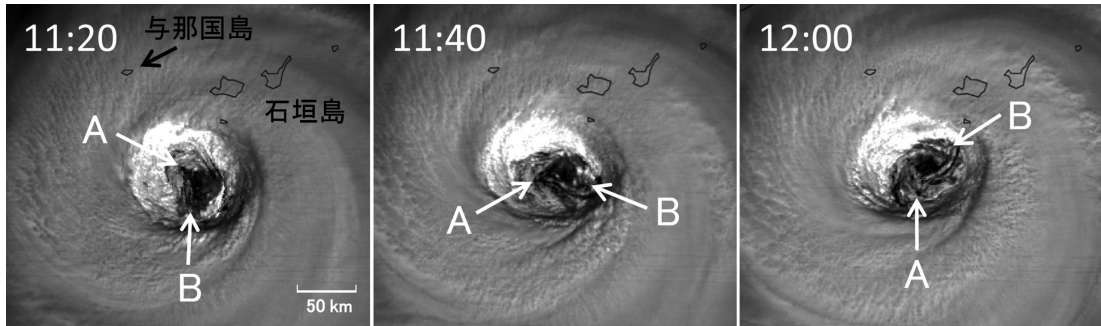
**30日(水)東北でも初冠雪**  
九州は湿った空気により雨。本州は日本海の高気圧に覆われ東日本中心に晴れ。北海道は気圧の傾き大きくなり羅臼で最大瞬間風速29 m/s。北海道利尻山と岩手県岩手山で初冠雪。





## 今月のひまわり画像—2015年9月

### 最大瞬間風速81.1 m/s を記録した台風第21号



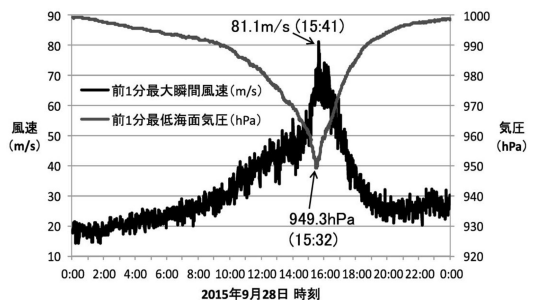
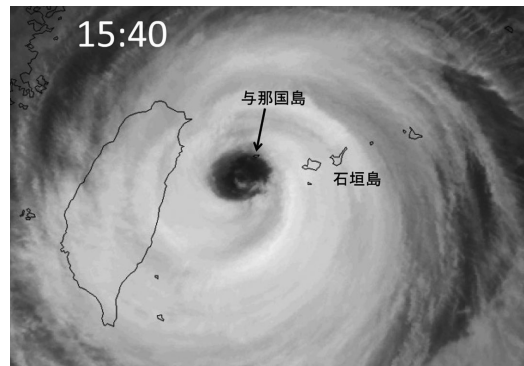
第1図 台風第21号の中心付近の可視画像。時刻は2015年9月28日11時20分～12時00分（日本時間）、記号 A, B については本文参照。

2015年9月28日、台風第21号が猛烈な勢力で西北西に進みながら先島諸島に接近し、与那国島で15時41分（日本時間）に最大瞬間風速81.1 m/s（富士山を除く観測史上第3位）、16時08分に最大風速54.6 m/s（富士山を除く観測史上第6位）を記録した。台風第21号の特徴は、眼の直径が約100 km と大きく、眼の中に複数の渦が反時計回りに移動していたことである。

第1図に、同日11時20分～12時00分の20分毎における台風の中心付近を拡大した可視画像を示す。ひまわり8号から可視画像の分解能が向上し、撮像の時間間隔が短縮されたことで、眼の中の構造とその変化の様子が詳細にわかるようになった。この期間、眼の中には下層雲による2つの渦（あるいは屈曲）構造（第1図の A, B）が見られ、これらの渦は眼の中心の周りを反時計方向に1時間で約半周する速さで移動していた（中心から50 km の距離では約160 km/h（約45 m/s）の速さに相当）。

第2図に、与那国島で日最大瞬間風速が記録された直近の時刻の赤外画像と、同島の前1分最大瞬間風速及び同最低気圧の時系列変化を示す。これによると、与那国島では台風が最接近した直後に最大瞬間風速81.1 m/s を記録し、この時、同島は台風中心の北東側で発達した「眼の壁」のすぐ内側に位置していた。周辺の島のアメダス観測や台風の進行方向などから、特に与那国島付近で風が最も強かったと推測される。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）



第2図 上図：同日15時40分（同）の赤外画像。  
下図：同日の与那国島における前1分最大瞬間風速と同最低気圧の時系列変化。